

ロンドン、2018年11月27日

韓国のウルサン・アルミニウム向けに圧延機用オートメーションシステムを受注

- 熱間圧延機に新型オートメーションプラットフォームと制御システムを搭載
- 冷間圧延機2号機にも新型制御システムを搭載
- 近代化により信頼性と稼働率が向上

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、韓国のアルミニウムメーカーであるウルサン・アルミニウム社（Ulsan Aluminum Ltd.）より、韓国蔚山（ウルサン）市にある同社工場の熱間圧延機と冷間圧延機2号機用として新型オートメーションシステムを搭載する近代化工事を受注しました。熱間圧延機と冷間圧延機2号機には、新型オートメーションプラットフォームに則った新型制御システムが搭載され、圧延機の信頼性と稼働率の向上が実現されます。本近代化工事は、2018年末に完工の予定です。

ウルサン・アルミニウムは、ノベリス社（Novelis Inc.）と株式会社神戸製鋼所の合弁会社として2017年に設立されました。同社工場では、アジアにおける飲料産業、電子産業、自動車分野、建設産業向けにアルミニウム圧延製品を製造しています。

今回の近代化では、熱間圧延機用として、オートメーションプラットフォームと自動ゲージ制御（AGC）、油圧ギャップ制御（HGC）、ワークロールベンディング制御などの新型制御システム（TCS）、データ収集システムとオペレーター用管理・監視システムを含む新しいオートメーションシステムが供給されます。

さらに冷間圧延機2号機にも、今回の熱間圧延機用や2013年に冷間圧延機1号機用に納入したシステムと同等の機能を備えた新型TCS、さらにデータ収集システムとオペレーター用管理・監視システムも装備されます。

当社は、両圧延機へのオートメーションシステムの搭載、試運転および調整を担当します。



アルミニウム圧延機の制御ステーション

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューション

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumljija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2018111686jp

ンを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com